

ひゅーまん ネットわーく

地域に生きる

2018年 7月 発行／第74号

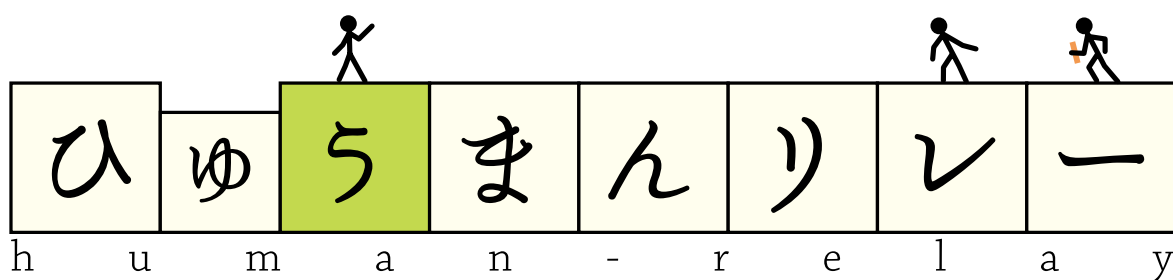
社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



ジェイ・ブランチよどの施設外就労の様子

上左写真	株式会社 フルカウント様の訪問販売	上中写真	かわばたレディースクリニック様のメンテナンス作業
上右写真	株式会社 かまどや様の厨房食器洗浄作業	下写真	株式会社 津田紙工様 軽作業



タコ足ケアシステム



社会福祉法人 槇の実会

障害者相談支援センターひかり

たか やす かず ひろ
高安 一弘さんより

ゆるーくつながって楽しく!タコ足ケアシステム
(以下タコ足) は人口 15000 人の千葉県多古
町を舞台に様々な人たちの活躍を応援している。

このところ『共生社会』『地域』『ネットワー
ク』等が流行りのワードであり、専門職同士の
連携に留まっていることが少なくない。タコ足は
住民参加型のあたりまえのネットワークを大切に
し、決まった組織形態やリーダー等もなく、タコ
の足先にあるそれぞれの活動を通して様々なご
縁を生み出している。今回は、私がタコ足の活
動を通して、障害者と地域住民が今どのような
距離にいるのかを少しでも紹介できればと思う。

タコ足は、3年前に近隣の高齢者施設の在田
さんから、『多古町で専門職と住民をつなぐネッ
トワークづくりをしたい』との話に、『いい暇つぶ
しだね!』と言ったとか言わないとか…(笑)その
後、飲み屋の郡司さんと地域包括の平野さんとの
ゆる〜い話し合い(とにかく『楽しく』を大
切になんでもやってみよう!) がのちのタコ足ケア

システムとなった。

●お菓子の移動販売

施設利用者の買い物外出は週 1 度実施してい
るが、施設側の都合で増やすことは容易ではな
い。買い物の機会を増やせないかと大手コンビ
ニへ移動販売の相談をし、きっぱり断られ諦めて
いた。タコ足のご縁から酒屋の押田さんになに
げなく相談すると、『いつから行けばいい?』との
返事があり、毎月、お菓子や飲み物等をたくさ
ん持参し利用者の楽しみとなっている。今では、
この移動販売に近隣の高校生やボランティア等
が参加し、初めて施設を訪れる方には、押田さ
んが施設や障害の説明をしてくれている。『彼ら
にとっては高級バッグよりもお菓子の方が大切な
んだよ(笑)』『人それぞれ大切にしているものが
違い、お菓子ひとつであんなに喜んでくれること
がとってもありがたい』今では、酒屋に自閉症
スペクトラムの本が置かれているとか…

● 歩け歩け大会

槇の実会の歩け歩け大会は、今年で12回目を迎える。当初は、農道を歩いて近隣の公園でお弁当を食べて帰ってくるだけのイベントであったが、飲み屋の郡司さんから、『もっと町へ出てこい!』と勇気をもらい、9回目から多古町内を舞台とし、参加者300名を超える大イベントとなっている。障害者等が山奥の施設から町へ出て、寺社仏閣、靴屋、パン屋等をスタンプラリー方式で歩き、昼食は町内の飲食店にご協力いただいている。回を重ねるごとに、一般参加者も増え、今年は、近所のおばあちゃんやこども達が店先で応援する様子もみられるなど、地域住民の障害者へ対する温度が上がっていることが実感できた。また、参加者から『集団でなく、個人的に利用者さんに関われる機会はないかな?』と声をもらい、今では、施設利用者の岩田さんと佐久間さんが名刺を配りながら町を歩き、高校生への挨拶運動や靴磨き等のボランティア活動をしている。



歩け歩け大会

私は障害福祉に18年従事させてもらっているが、タコ足の活動をする前までは、こんなに多古町の住民が障害者・職員を応援してくれるとは思いませんでした。地域って『どうもすみません!』って謝罪をしにいくイメージが個人的にはあったかも…(笑) 地域は受け入れてはくれないと偏見をもっていたのは我々支援者側だったと反省している。また、地域移行・社会参加といわれますが、そもそも、我々支援者が地域をどれくらい知っているのでしょうか? もしかしたら福祉専門職ほど地域との関わりって苦手なところがあるのかもしれない。そんな誰もが抱える不安をタコ足は活動を通してゆるーく繋げてくれたものだ実感している。今後もタコ足ケアシステムを機会とし、障害者にかぎらず、高齢者・子供そして大人たち(笑)が活躍できるステージを用意し、舞台裏でゆかいな仲間たちと真剣にふざけていきたい。



ボランティア活動



～地域連携を考えて～

良きご縁を活かして

大阪保健医療大学

学生支援室 ^{もと}本 ^{やま}山 ^{しん}慎 ^{いち}一 さんより

大阪保健医療大学では、2017年度より学生支援室を立ち上げ、学生の勉学・生活全般のサポートを開始しました。

その立ち上げからご尽力いただいた北摂杉の子会様との良きご縁に心より感謝いたします。

■ 大阪保健医療大学とは

超高齢社会を迎えたわが国において、加齢による心身の衰えや病気や外傷によって失われた心身の機能を回復させ、社会生活に適応するためのリハビリテーション医療はますます重要視されています。このリハビリテーション医療では、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）が重要な役割を担っています。

本学はこれらリハビリテーション医療専門職を育成するために、福田学園の建学の精神に基づき、前身の大阪リハビリテーション専門学校を改組し、2009年に開学しました。

専門知識（学問）、技術（実習）・人間尊重（心）を重視し、きめ細やかで丁寧な実践教育の遺伝子を引き継いでいます。

■ 本学の学生とは

本学の学生はリハビリテーション医療専門職を目指して入学してきます。

半分以上は文系の学生ですが、講義では、筋肉の名前や神経の仕組みなど医学用語が1年次

からたくさん出てきます。また、医療・介護現場でバイザー（指導者）の先生に就いて指導を受ける「臨床実習」という現場実習もあります。学生にとっては、憧れの現場に出る良い機会ではありますが、学ぶことの多い大変なひとつの試練でもあります。それらを克服し多くの専門知識・技能を習得して、最後に国家試験に挑戦です。合格後は、国家資格の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と称して、患者様のリハビリテーションを行う事になります。

■ 学生支援室とは

このような中で本学の学生達は、やりがいをもって大学生活を過ごす一方、日ごろの勉強や生活において、様々なストレスや悩みを持つことも少なくありません。そんな学生の困りごとや相談ごとを受けるのが学生支援室です。その悩みを受けとめ、課題に気づかせ、進むべき方向性を共に探していく、そのサポートを北摂杉の子会の星明さんにご指導いただいています。また、教員向けのセミナーや学生同士のグループワークなども担当していただき、多方面から学生への支援策を講じて頂いています。

入学する学生とのご縁、北摂杉の子会様とのご縁、バイザーの先生方とのご縁、様々な良きご縁のお陰で毎年、社会に役立つセラピストが本学から巣立っています。



ゼミ活動を通じた連携

関西学院大学人間福祉学部

教授 ^{やす}安 ^だ田 ^{みよこ}美予子 さんより

私は関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科で社会福祉学を教えています。貴法人には、社会福祉士国家資格取得のためのソーシャルワーク実習と、3年生のゼミ活動という2つの学生教育で、大変、お世話になっています。今回は、ゼミ活動での貴法人との連携を紹介させていただきます。

2016年度と2017年度は、LaLa-chocolat TAKATSUKIさんから出された課題に、ゼミで取り組みました。取り組みにあたって、医療連携推進室室長の小林さんをコーディネーターに、LaLa-chocolat TAKATSUKIの管理者の木戸さんや松上理事長に、大変、ご尽力いただきました。障害者のディーセントワークやマーケティングの講義の他、課題遂行過程での中間報告会でのアドバイスや最終報告会での審査などで、皆さんには何度も授業に来ていただきました。さらに、LaLa-chocolat TAKATSUKIでチョコレートを作っている利用者の方々との交流や店舗見学も行いました。

そうしたご尽力のおかげで、ゼミ生達は大きな学びの機会を得たと感じています。私のゼミに所属する学生のほとんどは、社会福祉学科に在籍しつつも、社会福祉士の資格取得を目指さず、卒業後の進路として社会福祉機関・施設を選ぶことはありません。そのような学生達に、社会福祉学科らしい、かつ、企

業活動的な要素も入った体験的学びをして欲しいと思い、貴法人のご協力を仰ぎました。ゼミ活動を通じ、はじめて障害のある人と交流を持った学生もいたようです。また、福祉の事業、それを取り巻く環境やディーセントワークという理念について、学生達は考える機会を得たと思います。

2018年度は、発達障がいを持つ大学生の就職活動支援をテーマに、ジョブジョイントおおさかさんのご協力を得て、ゼミ活動を進めています。先日、ジョブジョイントおおさかの元利用者で今は特例子会社と企業で働いている方お二人がゼミに来て、ご自身の就職に至るまでの経験や思い、現在の仕事のことを話してくださいました。ゼミ生とそれほど年齢差のないお二人による、社会人としてどう働いているか、自身のキャリアをどう考えているかといった話しは、就職活動を控えている学生達にもインパクトがあったようです。ジョブジョイントおおさか所長の星明さんには、こうした当事者の方との交流の他、障害のある人を雇用している企業訪問のアレンジなど、ご尽力していただいています。学生共々、私も新たな学びの機会をいただき、法人の利用者の方を含め皆様には深く感謝しています。

業務貢献表彰報告

当法人では、職員の業務に取り組む意識向上・スキルアップをねらいとして、サービスの質の向上や地域社会と法人の関係発展等に貢献した、優れた取り組みやアイデアを表彰する業務貢献表彰制度があります。

平成29年度も21の取り組みがエントリーされ、その中

から20の取り組み（最優秀賞が1、優秀賞が10、努力賞が9）が表彰されました。

本誌にて、最優秀賞・優秀賞に選ばれた事例の中から抜粋して、順次紹介させていただきます。

最優秀賞

部署	業務貢献の名称	表彰者
児童発達支援部	PEP3(自閉症児発達障害児教育診断検査)について、 換算表作成による業務時間の短縮への取り組み	西ヶ峯 佐登子 西野 陽子

優秀賞

部署	業務貢献の名称	表彰者
LaLa-chocolat /TAKATSUKI	バレンタイン商戦に向けた計画的な取り組み ～高工賃の実現に向けて～	木戸 貴之
ジョブジョイント おおさか	企業支援 ～意見交換会の取り組み～	伊藤 望
アクトおおさか	内的活動を通して社会とつながる ～当事者グループの取り組み「OSAKAでこいろfesta」～	岡 あゆみ
アクトおおさか	おもてなし電話導入による効果 ～おもてなし精神を企業から福祉へ～	岡 あゆみ
アクトおおさか	地域づくりのための地道な取り組み 「発達障がい者の地域支援を考える会」	内田 郁江
アクトおおさか	大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか 15周年記念事業の実施とその効果について	岩城 望
ぶれす	地域で活かせる支援を目指して ～重度の知的障がいのある方への意思決定の経験を支援する～	藤谷 沙紀
萩の杜	入所施設における医療的ケアと体制の構築	中辻 智貴 瀬川 直樹
児童発達支援部	「大阪府発達障がい児支援のための 保育士・幼稚園教諭研修」合同講座の取り組み	堀内 桂 小林 一恵 谷岡 とし子
児童発達支援部	「東淀川区4・5歳児就学前子育て支援事業の取り組み」	小林 一恵 谷岡 とし子

大阪府発達障がい児支援のための 保育士・幼稚園研修「合同講座(基礎講座)の取組み」



児童発達支援部 部長 保育士 ^{たに}谷 ^{おか}岡 とし子

■ はじめに

大阪府では、保育士・幼稚園教諭の人材育成をすることにより、幼児期の子どもたちの健全育成に資することを目的として、保育士、公立幼稚園及び私立幼稚園の教員等を対象にした研修が実施されています。その中に、発達障がいの特性理解と具体的な支援方法についての学びを通して、友達とうまく遊べないなど「気になる子ども」への気づきも含めて、早期発見から幼稚園・保育所における早期の発達支援のあり方についての内容があります。今回、当法人でもその受諾の機会がありました。

従来の研修は、合同講座(定員:各250名)と演習(定員:各40名)の2種類でした。合同講座では発達障がいの特性理解を、演習では支援のプロセス(評価⇒計画⇒実施⇒評価)を3回コースで学べる機会となっています。演習形式の研修は保育所や幼稚園でもすぐに活用できる支援方法として、また、関係機関や小学校へのつなぎ力等を強化する内容も加わったことで受講者にも好評いただいております。

■ 現状の課題と改善策

大阪府の事業見直し等もあり平成28年度は演習のみの受諾・実施となりました。演習には定員を超える応募もありましたが、「発達障がいの特性理解」の学びが十分でない受講者もおられ、演習だけの事業に課題を感じました。支援をするには「障がいの特性理解」が基本であり重要です。大阪府にも演習の方に対して「発達障がいの特性理解」の事前受講をお願いしました。

そんな経緯の中、大阪府と塩野義製薬株式会社の事業提携により、従来の合同講座が「基礎講座」として「演習」が大阪府の委託事業として両方の事業が29年度は実現しました。実施に向けては、「大阪府」「塩野義製薬」様の担当者様のご協力もあり、課題の共有とその改善に向けて再三の検討を行いながら事業が進みました。下記が共有した課題と改善案になります。

* 受講者拡大

- 平日2日間と休日を含む3日間で開催(定員600名)

* 内容の充実

- ①特性理解 ②保育所や幼稚園における支援 ③保護者支援の3本立て
- 気づきの視点から支援につながるような内容

* 「Q&Aの冊子」の作成

- 受講者が所属で参照・活用できるように29年度新たな取り組みとして提案された。受講者のアンケート質問に対して、講師回答を「塩野義製薬」様が冊子作成後に受講者へ配布

■ 取組み(基礎講座・Q&A冊子)とその成果

<目標>

保育所や幼稚園、認定こども園等において発達障がいなどの子どもの困りごとに気づく視点を持つとともに、子どもを支援するための具体的なスキルを習得し、関係機関や就学後への支援へのつなぎ方を強化することなどを目的とする。

<日時>

日程:A:平成29年8月6日(日) / B:8月9日(水)
C:9月20日(水)

時間：午前10時～午後3時半

内容：ABCとも共通、① ② ③ 各90分程度

①「発達障がいその理解と対応」

講師：堀内 桂

②「こどもの行動の背景を知り支援を考える」

講師：谷岡とし子

③「家族とタッグを組む～理解と支援を共有する」

講師：小林一恵

＜受講者数とアンケート結果＞

1. 受講者数 3日間合計(510名) ※全講座同人数
2. アンケートの回収率 97%(496名)

【講座1】

役にたった	349	70.6%
どちらかといえば役にたった	120	24.3%
どちらともいえない	20	4.0%
どちらかといえば役に立たなかった	5	1.0%
役に立たなかった	0	0.0%
計	494	

【講座2】

役にたった	358	72.3%
どちらかといえば役にたった	117	23.6%
どちらともいえない	16	3.2%
どちらかといえば役に立たなかった	4	0.8%
役に立たなかった	0	0.0%
計	495	

【講座3】

役にたった	279	57.9%
どちらかといえば役にたった	158	32.8%
どちらともいえない	39	8.1%
どちらかといえば役に立たなかった	6	1.2%
役に立たなかった	0	0.0%
計	482	

◎「Q&A冊子」完成と配布

■ 今後に向けて

保育所や幼稚園等の所属の場においては、環境の工夫や視覚支援の活用など一定程度は進んできましたが、園児一人ひとりの特性や発達段階を考慮するまでには至っていないところも多くあります。質問内容や演習に参加された方の声として、「集団保育のねらい」と「個別対応」の葛

藤が支援者の悩みとしてありました。環境の工夫や個別的配慮の経験を通して、自立の力が付くと集団にも参加でき大人の援助も減少します。何よりお子様の自信や達成感につながりますので、個別支援から集団の環境へ送り出せるよう自立に向けた支援を、自信を持ってお願いしたいと思います。また、その支援が保育所や幼稚園だけでなく、小学校や中学校、児童発達支援事業所や放課後等デイサービスなどの教育・福祉の場にも広められ、ライフステージにおける一貫した支援が実現します。

■ 最後に

「大阪府」「塩野義製薬」様には、当日・振り返りの場へのご参加のみならず、レジュメや「Q&A冊子」作成に向けて1文1語に至るまで丁寧な意見交換とご助言を頂きました。主催者側と課題を共有しその改善に向けて検討させてもらえたことは、より一層の責任は感じつつも事業に参画していることが感じられた充実した時間でもありました。深くお礼申し上げます。また、法人職員とは「氷山モデル」をベースに特性理解⇒評価⇒支援の流れについて共有できる安堵感と信頼感もあり、講師担当と冊子の編集作業を協力してできました。このような様々なご尽力によって、本事業が無事遂行できたと思っております。この場をお借りし関係者の皆様へのご報告とお礼の言葉に代えさせていただきます。今後も保育士・幼稚園教諭等の発達障がいにおける人材育成研修等の機会が充実し、子ども達やご家族支援に繋がる事を切に願っております。

Q&A冊子



基礎講座



入所施設における支援員による 医療的ケアの実施と体制の構築



障害者支援施設 萩の杜
介護福祉士 瀬 川 直 樹

■ はじめに

今回は、「入所施設における支援員による医療的ケアの実施と体制の構築」というテーマについて、Nさんのケースをご紹介します。

今回のケース：障害者支援施設「萩の杜」

Aグループ

Nさん 46歳 男性

障がい名：重度の知的障がいを伴う自閉症
難治性てんかん

■ Nさんの首付近に腫れを発見

Nさんの首部分（甲状腺付近）に腫れを発見し、通院して検査した結果、甲状腺腫瘍と診断されました。手術をする場合、腫瘍の状態によっては気管付近も切除してしまうため、永久気管孔を造設することになり、造設後は喀痰吸引等の医療的ケアが必要になってきます。

■ 手術をするかどうかの検討

保護者・茨木市職員・看護師・関係支援員でケース会議を何度も実施し、情報共有や手術も含めた今後の方向性の検討を行ないました。

「慣れ親しんだ萩の杜で生活してほしい」「手術をしない場合は治療が難しい」「長時間の手術になるが、成功率は高い」等のことから、手術を実施して萩の杜で生活できるように体制を整えていくことになりました。

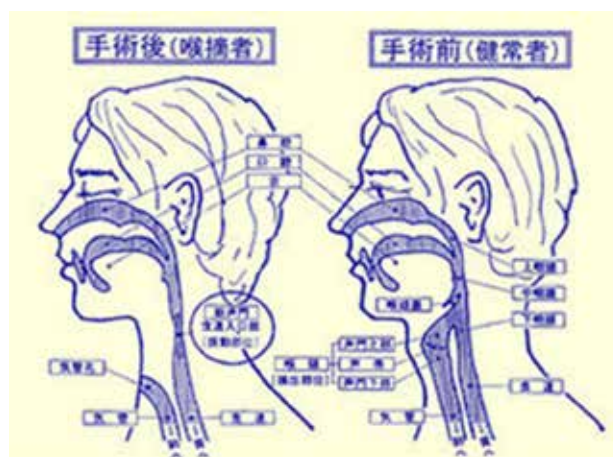
■ 入院時の付き添い

Nさんは、てんかん発作による転倒等による怪我の危険性があります。そのため、入院中24時間体制の付き添いが必要となるので、保護者・萩の杜職員・法人内職員・居宅支援事業所が協力して付き添いを行ないました。

■ 手術

約13時間の長時間の手術でしたが、無事腫瘍部分を摘出することができ、永久気管孔を造設されました。

[永久気管孔のイメージ]
食道と気管が別々になっています。



出典：ginreikai.or.jp

■ 退院後の対応について

手術後は、萩の杜での生活を送っているのですが、そこでも個別の対応が必要となる場面がいくつか想定されました。その中でも特に大きな課題となったことは以下の3点です。

- ①看護師がいない場面での喀痰吸引
- ②夜間帯の対応スタッフの確保
- ③永久気管孔による対応の変化

①看護師のいない場面での喀痰吸引について

萩の杜では日中に常勤の看護師がいますが、看護師が不在の時は職員で喀痰吸引をする必要がありました。生活職員・日中職員・上長がそれぞれ喀痰吸引3号研修を受け、大阪府に申請を行ない、無事に5名がNさんへの喀痰吸引が可能となりました。職員による喀痰吸引は*気管カニューレ内のみ可能ということで、気管カニューレが外れている場合は看護師が対応し、看護師が不在の際は保護者へ連絡し、対応をお願いすることで萩の杜での生活が続けられています。

※気管カニューレ

気管切開手術後に切開部から気管内に挿入して気道の確保、出血や分泌物の吸引などに用いる管

②夜間帯の対応スタッフの確保について

夜間帯は常勤の宿直者1名、非常勤の夜勤者3名で仕事をしている状態でした。そのため不安要素として、ほとんどの場合が喀痰吸引の資格を持たない職員しかいないことが挙げられました。解決策としては、夜間看護師配置加算をとり、日中だけでなく、夜間にも看護師を配置することで体制を確保しています。

③永久気管孔による対応の変化

手術前はてんかん発作はあるものの、入浴については他のご利用者と一緒に行っていましたが、手術後は永久気管孔から水が入るといけないため、別の時間帯に2名体制で防水エプロンやタオルを首に巻くなど、永久気管孔に水が入らないように工夫をして入浴を行っています。

■ まとめ

今回手術の実施を決定するまでに、度々ケース会議を開き、情報共有や手術の検討等を行なってきました。茨木市の職員さんからは、茨木市のサービスで何か利用できるものがないか提案してくださったり、保護者の想いや職員の想いも共有できました。不安の多い中でしたが、皆が納得した上で手術を実施することになり、手術後は萩の杜で生活するという選択ができて良かったと感じています。

現在もNさんは萩の杜で日々の生活を送られています。初めは不安な事だらけでしたが、萩の杜のスタッフ、他事業所の職員の方々にも協力をしてもらいながら入院から現在に至るまで無事に過ごすことができています。これからもNさんが慣れ親しんだ萩の杜での生活が継続できるように体制を整えていければと思います。また、重度高齢化の流れの中で、今回のように日々の生活の中で医療的ケアが必要となるご利用者が、今後も出てくることが考えられます。その時に今回の経験や、作り上げてきた体制を生かしていきたいと思っています。

ジョブジョイントおおさか 所長

社会福祉士 保育士 ほし あき さと し
星 明 聡 志

視察4日目は、ノースカロライナ大学のTEACCH部を訪問。

TEACCH Autism Program (TEACCHプログラム) の概要説明、Supported Employment Program (就労プログラム) の内容紹介と実際の就労サイト(2箇所)の見学をさせていただきました。

1. TEACCH Autism Program

1972年、Dr. Eric Schopler (エリック・ショプラー) によって作られたTEACCHプログラムは、世界中の他のプログラムのモデル。TEACCHプログラムは、初診、相談、診断評価、家族相談セッション、親の支援グループ、社会的遊びとレクリエーショングループ、高機能のクライアントの個別カウンセリング、サポートされる雇用などの臨床サービスを提供しています。

TEACCHプログラムのミッションは、「自閉症の人のQOL(生活の質)を向上させるための例示的なコミュニティベースのサービス、トレーニングプログラム、およびリサーチの開発を生み出し、育成すること。また、ビジョンは、「自閉症の人およびその家族のための地域密着型サービスの開発、および普及の世界的リーダーである」こと。自閉症支援を地域に浸透していくことで、こうした事を目指して取り組まれていました。

自閉症の人の診断の数は年々変化しているとのこと、以前は、2,500人に1人と言われていましたが、最近の調査では68人に1人が自閉症と診断されているようです。このように増加傾向にあるニーズに対して、TEACCHプログラムとしてどう対応していくかが今後の課題であるとのことでした。



▼ TEACCHセンターの待合室



シンプルかつおしゃれな雰囲気、壁には自閉症の人の作品がたくさん展示されていました。

2. Supported Employment Program

ディレクターのMike Chapman (マイク・チャップマン) から説明を受けました。



プログラムの概要は、日本語訳されたDVDで紹介をしていただき、その内容は以下のとおりです。

▼3つの就労形態

〈Standard Placement (標準就労モデル)〉

1人の障がいのある人にジョブコーチが1人、マンツーマンで支援を行います。

ジョブコーチが職場で支援した後、自立度が一定程度高まってくると、ジョブコーチは徐々に職場にいる時間を減らしていくようです。

〈Group Shared Support Site (グループ共有型援助付き雇用)〉

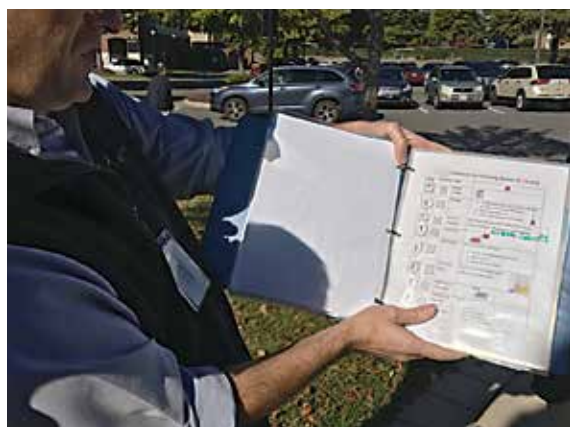
日本的にいうとグループ就労の形態。同じ場所で複数のご利用者が仕事をし、ジョブコーチ1名が常駐しているようです。

〈Mobile Crew (モビクルー)〉

ご利用者とジョブコーチの複数名のクルーで1か所のみでの作業でなく、移動して作業を行う形態。掃除の仕事が中心のようです。3つの形態は、それぞれ支援の度合いが異なり、様々な職業場面で活用することができるということです。

3. 就労サイト①の見学

ワールドマーケットという雑貨屋で16年間働いている方の就労サイトを見学させていただきました。



1日5時間で週3日就労されていて、それ以外の日はデイサービスに行ったり地域のボランティアに参加したりされているようです。

ジョブコーチは、援助付き雇用として一歩下がったところに配置。本人の仕事内容は、レジ、在庫補充、少しの接客、館内放送等を担っており、お釣りの計算、接客、ソーシャルスキル等においてジョブコーチが必要に応じて介入、サポートしなが

ら職場定着をされていました。上の写真は、本人の支援マニュアルや構造化の支援ツール、支援計画等がまとまったジョブコーチ用のファイルとご本人の1日のスケジュールです。

▼インフォーマルアセスメント

このサイト①は、他の自閉症の方も実習生として受け入れ、インフォーマルアセスメントの場として、店全体の環境を活用しているとのことでした。以下のような項目をアセスメントの視点としています。



ワールドマーケットを見学

- 店内の刺激に対する反応
- 文字が読めるかとディスプレイのセンス
- 商品をバスケットに入れるスキル
- 匂い、マッチング、集中力、注意力、手触りなどの感覚面等のスキル
- ピッキングの逆として、買い物カゴにたくさんの商品を入れ、商品棚に戻すスキルの確認
- 棚卸し、在庫確認など

アセスメントの方法としては、ジョブコーチの中にアセスメント係も配置しており、1日に1時間もしくは長くても2時間程度の時間でアセスメントを実施していて、全部で25時間ぐらい(1ヶ月程度)の期間で自閉症の方の様子を確認しているとのことでした。

4. 就労サイト②の見学

就労サイト②は、統計解析ツールのソフトウェア企業SAS(サス)。ここは、米ビジネス誌『Fortune』が発表する“最も働きがいのある企業”で毎年上位にランクインするなど、従業員の働きやすさでも高く評価されている企業です。

この就労サイトでは、グループ就労で3人の自閉

症の方が勤務されており、SAS内のカフェテリア(社員食堂)の洗い場を担当。1人のジョブコーチが配置され、サポート体制がとられていました。

ジョブコーチは、8:30～16:30でサポートし、自閉症の人は10:00～14:30で勤務。1994年から会社とパートナーシップをとり、就労が少しずつ広がってきたようでした。



フィーリングチェックリスト

ファイリングされたスケジュールは、ここで働く一人の自閉症の方の構造化の支援のひとつのツールです。グループホームに入居されているとのことで、他の人との対人コミュニケーションにおいてトラブルになり、それらを職場に持ち込んでこないかなど、コミュニケーションや心身面のケア、リラクゼーションなどが課題のようでした。スケジュールでは1日の見通しを伝え、「Feeling Checklist」では、1日の気持ち(感情)をセルフチェックしてから業務に従事されており、個別性を重視した構造化の支援が至る所でナチュラルに行われていました。

5. 所感として

4日目は、就労のことを中心にガイダンスと就労サイトにおける現場視察があり、個人的にはとても興味関心の高い内容でした。

マイク・チャップマン氏が観せてくれたDVDに出てくる自閉症の方や就労サイトで働かされていた複数の自閉症の方は、日本の企業で働いている自閉症の方に比べて、より十分なサポートが必要そうな中重度の自閉症の方が多く、そのような方々に対して多様な就労(雇用)のスタイルが実現できていることにとても刺激を受けました。

また、もうひとつ再確認できたことは、企業開拓を行う上で大切にしていることでした。TEACCHプログラムでは、自閉症の人を雇ってくれる企業を適宜開拓する活動も行なっているとのことで、その際に何よりも大切にしていることは、「自閉症の人の文化を最優先にした企業開拓の徹底」です。自閉症の人は、周囲環境との相互作用によって障がいの特性が良くも悪くも変化します。そのため、自閉症の人の文化や特性理解について「企業が柔軟性を持ち合わせていること」が重要と考えているとのことでした。

私の担当するジョブジョイントおおさかにおいても、企業開拓はとても重要な仕事です。自閉症に対してできるだけ理解を深めてくれる企業を探すことにできるだけ力を注いでいますが、現実としては企業開拓がスムーズに進まないこともあり、企業側が自閉症への理解を深めてくれないケースも少なからずあると感じています。ただ、今回の視察を通して「自閉症に対する企業の柔軟性」はTEACCHプログラムにとって譲れないポイントであるように感じました。そこは、私たちもしっかり見習って「自閉症の文化を大切にする企業開拓」をブレずに努力したいと思いました。



人材育成研修室の活動報告



発達障がいスーパーバイザー

臨床心理士 ^{ほり}堀 ^{うち}内 ^{かつら}桂

人材育成研修室は、児童発達支援部のPASSOにあった研修相談支援室の一部機能を引き継ぐ形で、広く発達障がい児者に対し適切に支援できる人材を育成することを目的とし、平成28年度に総務部の傘下に開設されました。

業務の内容は、福祉事業者や学校に対するコンサルテーション、自閉症スペクトラムを始めとする発達障がいに関する一般的な講演。また、都道府県が実施している強度行動障がい支援者養成研修とは別に、法人独自で強度行動障がいのある方へ適切な支援ができる人材を養成するため、半期に1度、計6回の継続的な講座も行っています。その他、法人に委託される公的な事業にも参画を求められることもあります。

前述の講座には、中国・四国地方からの参加がありますが、施設コンサルテーションに関しても、現在、西日本を中心に、遠くは関東方面からも依頼があり、一ヶ月に3日間おうかがいするところもあります。コンサルテーションにあたっては、概ね最初その組織の持っておられるニーズを聞き取り、まず支援に関する基本的な理論的枠組みをお話し、その後、実際の支援環境を見せていただきながら、事例検討を交え助言を重ねていくというスタイルをとっています。支援を始めるにあって、施設には様々なアセスメント情報が集められ、整理されているので、それを手がかりに支援のあり方を考えていくわけですが、一生懸命支援してもうまいかない場合は、必ず何か理由があります。その中の一つには、ASDなどの発達障がいが見落とされている場合が多々あるように思われます。また、最初のアセスメントで得られていない情報もあるので、事例検討の中でアセスメント

情報を集めなおしていただくことも度々あります。



事例検討中

はじめは、いわゆる不適切な行動の後始末に追われていた支援者さんも、アセスメントの中に背景を見出し、それに基づいて落ち着いて対処すれば大丈夫ということがわかって支援されるところを見ると、とても頼もしく感じます。中には、これまで度々精神科病院への入退院を余儀なくされたご利用者に対し、コンサルで得たことをヒントに、施設へ帰られてからの生活に見通しがもてるように、その日どんな活動があるかを見てわかるように生活の流れをあらかじめ示しておいたり（時間の構造化）、苦手とする人の刺激をあまり感じないように空間を仕切るなど（物理的な構造化）をするなど環境を調整され、現在は安定して生活されているという報告を受け、とても感動したことがありました。こういった福祉事業者や人材が、将来その地域で自閉症支援の中核的役割を果たしていかなければと思う次第です。

事例検討を進めるにあたっては、様子をまとめて報告していただくことが必要なので、支援員さんたちには負担があると思うのですが、どの事業

所さんからも熱心に資料を提供していただいております。それだけ期待されることも大きいと感じております。



課題分析について勉強中

ある入所施設では、次世代の支援を担う若い支援員さん達をチームとして、時間をかけて育てることを目指して当法人のコンサルテーション事業を活用されており、このチームが、この1～2年でぐっと力をつけられているので非常にうれしく思っています。そしてこの施設の親の会の勉強会でも、このチームの取り組みを発表する機会をいただき、家族ともいっそう協力ができるよう態勢ができてきたように思います。この支援力が将来も長く継続的に維持されていくよう願う次第です。



コアメンバー

福祉施設でも学校でも、想像がつかないことがすぐにわかるような環境の調整、それが時間の構造化であったり、空間の構造化であったりしますが、それがなされてくるにしたがって、ご利用者の様子が変わってくるのが実感されます。また環境の意味や働きかけの意味理解が進めば、発

信への意欲も上がってくるので、思わぬ発信があるということもよくあります。ただ、わずかな変化も読み取って記憶してしまうという、優れた面があるため、誰かが予告なく支援環境を変えてしまうと、混乱を生じるということもよくあります。全国的に見ても、組織として一貫して支援できるかが、大きな課題のように思います。

当法人は「地域で生きる」という言葉を理念としています。今後も、現在コンサルテーションのご依頼をいただいている事業者さまをはじめ、自閉症・発達障がいのある人が住みなれた地域で暮らしやすくしたいと願う皆様と一緒に、尽力したいと願っております。



地元の行政も参加しての実践報告会



第5回 北摂杉の子会研修セミナーを開催します

自閉症児者の生活の質を保障する Quality of Life for Individual with ASD

今回は、アメリカノースカロライナ州アルバマーレからGHA Autism SupportsのCEOであるドーン・アレンさんと支援部門のトップであるジャネット・バンクスさんをお招きします。昨年、全自者協でもツアーを組んで見学研修を実施しました。TEACCHプログラムの考え方を基にアルバマーレ市で行われてきた自閉症の人たちの地域における豊かな暮らしのための多くの実践は興味深く、また想像を超えるものもあり、非常に刺激的でした。今回お二人をお招きでき、先進的实践に触れ、皆さんと共有いたしたく企画いたしました。多くの皆様と事例や講演を通して支援のあり方や考え方、具体的な手立て等を共有できればと思っています。



ドーン・アレン
Dawn Allen



ジャネット・バンクス
Janet Banks

通訳 山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科
水藤昌彦氏

2018年

日時

10月6日(土) 12:00~16:30(予定)

会場

大阪市立住まい情報センター 3階ホール
大阪市北区天神橋6丁目4-20

参加費

3,000円
(消費税込み)

4 法人ジョイントセミナー

思う存分！自閉症支援

～北海道と大阪と横浜、そしてアメリカから～ 自閉症支援について発信するセミナー

2018年

9月29日(土) 12:30~17:00 GHA 講演会
(有料: 3,000円)

「自閉症児者の生活の質を保障する
-Quality of Life for Individual with ASD」

9月30日(日) 9:30~16:30 4 法人実践報告会および座談会
(無料)

「自閉症児者の QOL 保障のための日中活動・暮らし・地域生活」

講師：4 法人現場の実践報告

「対談」 加藤潔氏 (国立リハビリテーションセンター)
志賀利一氏 (横浜市発達障害者支援センター)

会場

県民共済
みらいホール
県民共済
プラザビル1階

横浜市中区
桜木町 1-1-8-2

主催：社会福祉法人 横浜やまびこの里 TEL: 045-591-2728

共催：社会福祉法人 北摂杉の子会・社会福祉法人 はるにれの里・社会福祉法人 侑愛会

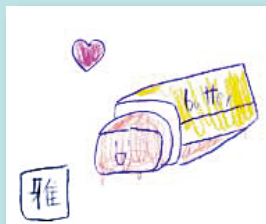


杉の子 いいね!

🎨 レッツ
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

クッキーラベルに使用しているイラストを紹介します!



バター味



サンフラワー
シード味



ジャム味

●スタッフのコメント（ひむろ）

毎回変わるクッキーの味に合わせて、イラストを描いていただいています。お手本通りに描かれる事もあれば、オリジナルにアレンジされることもあるので、毎回仕上がりを楽しみにしています。



川合雅也さんの描くイラストが下記のようにクッキーラベルになります



イラスト描きの他にも、袋詰めやシーラー作業に取り組まれています。「クッキーやりたい!」といつでも積極的に作業されています。

「雨降りくまのこ」 木村 健人さん



●スタッフコメント（ジョブサイトより）

余暇プログラムの創作活動の時間で描かれた作品です。いつも見本を見ながら、かわいらしいタッチで色々な絵を描かれています。

「大都会に現れた巨大ピラルク」 村山 皓一さん



●ご本人コメント（ジョブサイトより）

おもしろい写真を作りたくて撮りました。ピラルクが梅田の街を食べちゃおうとしています。



北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成30年3月～5月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、
 様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。
 過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。
 ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。
 ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスして
 ご覧ください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	すぎの子はったつ通信 4月号
	平成30年度 働くチカラPROJECT 始動
	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修 開催のお知らせ
お知らせ	北摂杉の子会公開講座 ご案内
よどのコロッケ	よどのコロッケかわら版更新
	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・ディ情報更新



掲示板コーナー

(平成30年3月から平成30年5月まで)

法人本部総務部 掲示板

3月	行 事
3日	大阪社会福祉協議会 福祉就職フェア
5・19日	経営会議
7日	佛教大学 学内説明会
8日	内定者施設見学会・懇親会
9・23日	運営会議
15日	FUKUSHI meets 就職フェア
16日	医療連携推進室会議
23日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
23・27 ～30日	採用応募者施設見学会
24・31日	法人採用説明会 高槻商工会議所会議室
28日	総務管理会議
29日	第113回理事会 生涯学習センター3階 研修室 第1号議案 法人組織再編の件 第2号議案 平成30年度 事業計画(案)の件 第3号議案 平成30年度 予算(案)の件 第4号議案 三菱UFJ銀行からの借入に係る抵当 権設定の件 第5号議案 定時評議員会開催の件

4月	行 事
2日	辞令交付式 高槻現代劇場306号室
3～5・9・ 11・12日	採用応募者施設見学会
7日	法人採用説明会 高槻商工会議所会議室
9・23日	経営会議
13日	権利擁護虐待防止委員会
13・27日	運営会議
14日	採用筆記試験
21日	第1回 法人全体研修 平成30年度方針・業務貢献表彰・資格表彰・新人 職員紹介 施設コンサルテーション事業の報告(北摂杉の子会 公開講座) 社会福祉法人 来島会 南海学園/社会福祉法人 はる シンポジウム 施設コンサルテーションの機能と役割について考える ～行動障害のある利用者支援についての施設コン サルテーションを通して～
24日	総務管理会議
25・26日	採用一次面接
27日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

5月	行 事
8・21日	経営会議
11・25日	運営会議
14日	採用二次面接
17日	関西学院大学小西ゼミ・フィールドワーク受入
18日	医療連携推進室会議
22日	第114回理事会 高槻現代劇場401号室 第1号議案 定款変更の件 第2号議案 規程類新設の件 第3号議案 (仮称)レジデンスなさはらもとまち 建設並びに開設の件 第4号議案 (仮称)レジデンスなさはらもとまち建設 にともなう設計・監理業者の選定の件 第5号議案 独立行政法人福祉医療機構からの 借入の件 第6号議案 借入に伴う担保設定の件 第7号議案 平成29年度 事業報告承認の件 第8号議案 平成29年度 決算承認の件 第9号議案 平成29年度 監事監査報告の件
23日	総務管理会議
25日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

(河辺 記)

辞令交付式



採用筆記試験



萩の杜従たる事業所

正式名称「ふれっと なさはら」に決定しました!!



5月末時の建設途中の建物です



支援員には準備や研修を行なっています

美化の日

住環境を良くするため、月に1回、日々の業務では行き届かない掃除や施設の整備を行なっています。



5月は、中庭に
花の植え替えを
行ないました。

日帰り旅行



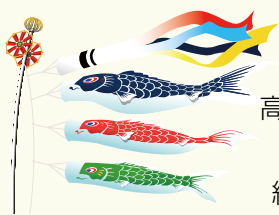
「鈴鹿サーキット」へ行きました



「奈良公園」に行きました

(竹内 記)

ジョブサイトひむろ掲示板



4月30日(月)『こいのぼりフェスタ1000』

子供達が健やかに育つことを願って、
高槻市のシンボル芥川の河川愛護を目的に毎年開催される
『こいのぼりフェスタ』に行ってきました。
約1000匹のこいのぼりが今年も元気に泳いでいました。



5月21日(月)『枚方パーク遊園地』

天気も良く絶好の行楽日和となりました。枚方パー兄さんになってるのは誰かな？



5月9日(水)

レクリエーション

『カプリチオーザ』で
パスタランチです!!



ちゅるちゅる

ちゅるちゅる



4月2日(月) 出店／販売『たかつき〇まるしえ』

杉の子農園の 野菜や陶芸の器、陶器でできた雑貨など販売してきました。



お買い上げありがとうございました!

(森田 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

3月	行	事
2日	3センター（府内の発達障害者支援センター）情報交換会	主催
5日	地域支援マネージャー事業：羽曳野市訪問（打ち合わせ）	
6日	地域支援マネージャー事業：豊中市障害者居宅介護・移動支援事業者連絡会 「発達障がいの理解と支援～疑似体験を通しての特性の気づき～」	
8日	泉佐野市・田尻町自立支援協議会定例会参加 地域支援マネージャー事業：岸和田市役所訪問（打ち合わせ）	
9日	地域支援マネージャー事業：羽曳野市地域自立支援推進会議参加	
13日	地域支援マネージャー事業：豊中市障害児者日中活動事業者連絡会 「発達障がいの理解と支援～疑似体験を通しての特性の気づき～」	
14日	大阪府発達障がい児療育拠点との情報交換会 ～大阪府発達障がい者地域支援マネージャー事業を通して～ 「療育拠点センターに期待すること」 講師：武庫川女子大学 教授 新澤 伸子 氏	
15日	地域支援マネージャー事業：岸和田市（事例検討）	
20日	発達障がいシンポジウムのメンター打ち合わせ	
26日	「大阪府発達障がい児者支援施策等にかかる市町村説明会」にてアクトおおさかの事業説明 泉佐野市・田尻町自立支援協議会全体会参加	

4月	行	事
2日	世界自閉症啓発デー 大阪城ライトアップイベント参加 高槻市・高槻市教育委員会主催 第10回自閉症啓発デー 講演会「自閉症の家族と共に育つ」参加	
6日	発達障がいシンポジウム「世界自閉症啓発デー in OSAKA 2018」参加 「発達障がいのある人の大学進学と合理的配慮 家族で進める自立への準備」 講師：信州大学 学術研究院教育学系 教授 高橋 知音 氏 ペアレント・メンター事業：「世界自閉症啓発デー in OSAKA 2018」 「パネルディスカッション 発達障がいへの理解 ご家族の子育てから学ぶ」	
26日	地域支援マネージャー事業：池田市訪問（事業説明） 発達障がい者の地域支援を考える会：岸和田市基幹相談支援センター訪問（打ち合わせ）	
27日	発達障がい者の地域支援を考える会：泉佐野市・田尻町基幹相談支援センターあいに訪問（打ち合わせ）	

5月	行	事
1日	発達障がい者の地域支援を考える会：富田林市相談支援センターあーる（打ち合わせ）	
8日	地域支援マネージャー事業：和泉市訪問（事業説明）	
10日	地域支援マネージャー事業：吹田市訪問（事業説明）	
14日	ペアレント・メンター事業：茨木市児童発達センターあけぼの学園訪問（打ち合わせ）	
18日	地域支援マネージャー事業：能勢町役場訪問（事業説明） 講師派遣：大阪府警窓口業務担当者講習「発達障害の理解と合理的な配慮」	
25日	発達障がい者の地域支援を考える会：太子町訪問（打ち合わせ）	
28日	地域支援マネージャー事業：岬町・阪南市訪問（打ち合わせ）	
30日	地域支援マネージャー事業：八尾市訪問（打ち合わせ）	

（坂本 記）

自閉症啓発デー



児童発達支援部

児童発達支援部 部内研修 たんぽぽ会 メンタルヘルスについて



PASSO



療育で仕事(ごみ箱洗い)



療育の中でテーマトーク



先生と課題

a z



クッキング



余暇活動 レゴブロック



3月保護者研修

will

Link



順番交代で待つ練習



おやつで食べたい物を要求



課題で足りないパーツを要求

(西ヶ峯 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

土曜開所日の余暇活動

大阪市立科学館
プラネタリウム

「お出かけプログラムで大阪市立科学館に行きました。」



カラオケ

「余暇プログラムで
カラオケに行きました。」



ユーチューブ
視聴中

「休憩時間にみんなで
動画を観ました。」



ジェイブランチよど

和紙創作



「先生に教わりながら、和紙で素敵な飾りを作りました。」

施設外就労

「初めてのお仕事でしたが
頑張りました!」



(桶谷、水口 記)

ぷれいすBe 掲 示 板

今回も土曜日を中心に様々な余暇・外出プログラムを実施しましたので
ご紹介させていただきます



カフェ
コンサート



午前・午後合わせて
100名を超えるお客様で大盛況でした

出演:布施和生&月陽様



Be級グルメ

みんなで美味しく
いただきました

寺田軌道株式会社様より焼きそばをご提供いただきました



外出
プログラム



万博公園



花博記念公園



カフェスイーツ



カラオケ



ガスト昼食

(下 記)

ジョブジョイント(JJ)おおさか -たかつきランチ- 掲示板

3月	行	事
3日	AM:土曜クラブ、家族ミーティング PM:働くチカラPROJECT（大学生向けサービス）、ジョイふるJJ	
7日	スタッフ内部研修（システムティックインストラクション）	
13日	事業所見学会（高槻）	
20日	働くチカラPROJECT実践報告会	
27日	事業所見学会（十三）	
28日	スタッフ内部研修（行動指針作成）	

4月	行	事
1日	アオクスル祭り参加（十三 自閉症啓発デーのイベント）	
10日	事業所見学会（高槻）	
24日	事業所見学会（十三）	

5月	行	事
8日	事業所見学会（高槻）	
16日	AM：土曜クラブ　PM：家族ミーティング	
22日	事業所見学会（十三）	

(山田 記)

働くチカラPROJECT 実践報告会

ジョブジョイントおおさかでは発達障がいやコミュニケーションに苦手さがある大学生向けに働くチカラPROJECTという就職支援プログラムを実施しています。毎年3月には実践報告会を行い、1年間の活動報告をさせていただいています。



体力アップでお花見

働くための基礎体力をつけることを目的に体力アップというプログラムを行っています。
3月はウォーキングコースに桜が綺麗に咲いていたので、お花見も兼ねて実施しました。お弁当を食べたり、縄跳びやウォーキングなど楽しく体を動かしました。



企業実習

いろいろな仕事の経験を積み、自分に合った仕事を確認していくために、企業実習に参加していただいています。



ウエルシアオアシス株式会社様にて



atelier mof様にて

アオクスル祭り

自閉症啓発デーのイベントに参加させていただきました。その一環で淀川区の区役所にアート作品を展示させていただいた写真です。



ららしょころ

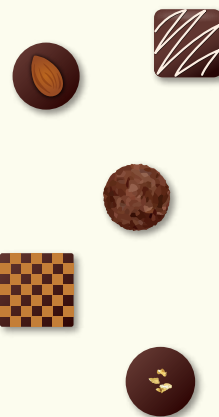
たかつき

LaLa-chocolat TAKATSUKI



入社式

4月より、新しいご利用者2名をお迎えし、入社式を行いました。
新メンバーも加わり、気持ちも新たに皆さん
お仕事に取り組んでおられます。



たかつきジャズストリート 2018

5月には、毎年恒例となりました
「たかつきジャズストリート2018」に出店しました。
ご利用者が心を込めて作ったイベント限定商品は完売し、
大変ご好評いただきました。



限定商品



限定商品チーズスティック



「たかつき〇まるしえ」

高槻市主催の自閉症・発達障がい啓発事業の一環である「たかつき〇まるしえ」イベントに出店しました。

このイベントは、授産品の販売を行い、障がいのある人たちに就労体験の機会を提供して自立の推進を図ると共に、市民との交流の場を設け、障がい者に対する理解を深め、授産製品の周知と障がい者福祉事業所などで働く障がい者が受け取る工賃向上を目的とします。

当事業所も高槻市役所1階フロアにて、ららしょころの商品の販売を行い、就労体験の機会を頂きました。

様々な市民の人たちにお声かけをいただき、お話ししたりと、良い販売経験をさせていただき、ご利用者の方も自信につながりました。有難うございました。
イベント開催の際は、ぜひ一度、高槻市役所にお立ち寄りください♪

(中野 記)

萩の杜家族会 掲示板

3月	行	事
22日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
25日	カトリック高槻教会にて花販売	
4月	行	事
10日	イオンのイエローシートキャンペーンに参加	
11日	イオンのイエローシートキャンペーン参加と贈呈式出席	
22日	カトリック高槻教会にて花販売	
23日	安全対策委員会	
27日	役員会 平成30年度定期総会（高槻現代劇場）出席24名 委任状18名 ・平成29年度 活動報告及び決算報告と会計監査報告 ・家族会規約の変更 ・平成30年度 萩の杜家族会の組織と役員選出 ・平成30年度 事業計画及び予算計画 ・平野理事 北摂杉の子会の平成30年度方針 ・勝部施設長 平成30年度萩の杜事業計画	
5月	行	事
11日	イオンのイエローシートキャンペーンに参加	
24日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
27日	カトリック高槻教会にて花販売	

（池田 記）

ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

3月	行	事
20日	第6回役員会 総会資料準備確認 新旧役員引継ぎ	
4月	行	事
11日	第7回役員会 総会資料作成（法人本部）	
23日	家族会会長会（高槻現代劇場201号）東会長出席	
25日	定期総会（生涯学習センター研修室） 出席者 会員42名 欠席3名 委任状9名（萩の杜ふれっと2名含む） 総員54名（萩の杜ふれっと会員も含む） 来賓 松上理事長 平野理事 ジョブサイトひむろ森田施設長 第1号議案 平成29年度行事活動報告 第2号議案 平成29年度会計報告及び会計監査報告 第3号議案 平成30年度行事計画の件 第4号議案 平成30年度予算計画の件 第5号議案 平成30年度役員及び会計監査・参与選任の件 以上の議案すべて承認 ・松上理事長より「平成30年度社会福祉法人北摂杉の子会年度方針」の説明 ・平野理事より「ひむろ移転・萩の杜従事業所・グループホームみやた移転 グループホーム第2レジデンスなさはらの進捗状況と居宅介護事業所の開設準備について」の説明 ・森田施設長より「平成30年度事業計画」の説明 その他 新会員4名の紹介 総会終了後 懇親会開催（桃莉）	

5月	行	事
2日	グループホーム入居希望者の会（今城塚公民館）	
18日	グループホーム入居希望者の会（高槻現代劇場303号室）	
28日	杉の子会後援会定例役員会（高槻現代劇場401号室）	東会長出席

（堀江 記）



家族会懇親会
平成30年4月25日「桃莉」にて



家族会新役員

ジョブサイトよど&ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

3月	行	事
24日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）	
27日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同定例会（淀川区民センター） 「発達に特性を持つ子どもへのSSTとその家族への支援」DVD鑑賞 ジョブサイトよど家族会（出席者：8名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：5名）	
4月	行	事
14日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（アーリーアーク501号室）	
23日	家族会会長会（高槻現代劇場 集会室201号室）（出席：永井、玉木）	
24日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同総会（淀川区民センター） ジョブサイトよど家族会（出席者：14名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：4名） 来賓出席：松上理事長、佐々木理事・総務部長、田端施設長	
5月	行	事
26日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）	
28日	北摂杉の子会後援会 定例役員会（高槻現代劇場 集会室401号室）（出席：玉木）	

（永井 記）



ふれいすBe家族会 掲示板

3月	行 事
8日	役員会（ふれいす Be 会議室） 参加者：13 名（来期役員候補者と施設長を含む） 審議報告事項 ・新役員（候補）との顔合わせ ・第 9 期定期総会の議案者の策定 開催予告 議事次第 第 1 号議案 平成 29 月年度活動実績 第 2 号議案 平成 29 年度収支報告および会計監査報告 第 3 号議案 第 9 期役員・会計監査・参与等の名簿 第 4 号議案 平成 30 年度活動計画 第 5 号議案 平成 30 年度予算計画 ・掲示板原稿（12 月～2 月）確認
27日	西郷和義会員の告別式

4月	行 事
5日	役員会（ふれいす Be 会議室） 参加者：9 名（施設長を含む） 審議報告事項 ・第 9 期定期総会議案書の確定と配布 ・定期総会までの手順、役割分担、準備物等の確認 ・議長・議事録署名人の選出 ・第 9 期定期総会「お礼と報告」文書の確定
8日	第 9 期定期総会（カフェ Be：10 時～12 時） 会員総数 59 家族、出席 29 家族、委任状 24 家族で総会成立 審議事項 ・平成 29 年度活動実績 ・平成 29 年度収支・会計監査報告 ・平成 30 年度役員・会計監査・参与選出 ・平成 30 年度活動計画案 ・平成 30 年度予算計画案 に関わる第 1 号議案から第 5 号議案まで、すべて全会一致で承認（議長は大門さん） 議事終了後来賓の挨拶 ・松上利男理事長より平成 30 年度法人年度方針 ・平野貴久統括理事よりグループホームの新設と移転 ・下施設長より平成 30 年度活動計画の発表および新職員 2 名の紹介 その後質疑応答を経て、後援会入会のご案内 厚東会長より閉会のご挨拶 「コールつばさ」の美しい歌声をしばし鑑賞したあと散会

4月	行 事
19日	役員会（第 9 期）（ふれいす Be 会議室） 出席者：8 名、施設長を含む 審議報告事項 ・総会議事録、2 人の署名人（谷様・高橋様）の確認・署名を経て確定 ・役員間の職務分担の決定 ・参観＆ランチの年間スケジュールの決定。案内文書の確定と配布 ・上半期の活動→ショートステイ懇談会、グループホーム見学会を企画 ・歓送迎会の日程調整
23日	家族会会長会議（出席者：厚東）

5月	行 事
11日	役員会（ふれいす Be 会議室） 出席者：10 名、施設長を含む 審議報告事項 ・参観＆ランチ、参加申込書の集計・整理、全 5 回の参加者名簿の確定と配布 ・新会員名簿の確定と配布 ・歓送迎会（日程、場所等の決定） 担当役員：田中 ・勉強会→日程は下半期、テーマは成年後見制 ・『Be どうし』原稿の確認
24日	新旧役員歓送迎会（松川町：マルヤス水軍） 参加者 7 名（新旧役員のみ） ありがとうございました／よろしくお願いします!!
28日	北摂杉の子会後援会役員会（出席者：和田、厚東） (厚東 記)

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

3月	行	事
5日	オアシス・サロン	参加者8名
19日	オアシス役員会	
4月	行	事
6日	ペアレント・メンター活動	大阪府発達障がいシンポジウム世界自閉症啓発デー in OSAKA2018「発達障がいへの理解 ご家族の子育てから学ぶ」パネリストとして発表
7日	おやじの会（大阪自閉スペクトラム症協会との共催） 会場：十三こがんこ	
8日	世界自閉症啓発デー&発達障がい啓発週間2018 JDDnet 大阪企画 上映会 「働きやすい文化を創る」&シンポジウム「発達障害者の就労を考える」に参加 場所：ドーンセンター 大会議室	
23日	オアシス役員会	
24日	大阪市西区障がい者児そよかぜの総会	会長出席
20日～ 5月16日	世界自閉症啓発デー2018 アール・ブリュット展（大阪自閉スペクトラム症協会主催） 会員児の作品を展示 場所：大阪市立中央図書館エントランスホール	
28日	講演会と自閉スペクトラム症の視覚世界を体験（大阪自閉スペクトラム症協会主催） に参加 場所：大阪市立中央図書館大会議室	
5月	行	事
28日	オアシス・役員会 北摂杉の子会後援会役員会	会長出席

（福田 記）

北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ジェイ・ランチよど、ぶれいす Be の家族会の皆様のご支援を頂き、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます

<近況報告>

- 3月 個人会員：432名、団体会員：28団体
合計：460名／団体 寄付：なし
- 4月 個人会員：377名、団体会員：24団体
合計：401名／団体 寄付：なし（会員の退会あり）
- 5月 個人会員：386名、団体会員：24団体
合計：410名／団体 寄付：4件

<行事>

- ・2018年（平成30年）度の定例役員会を開催しました（議事録抜粋）

日 時） 2018年5月28日（月） 14:00～15:00

参加者） 役員10名全員（委任状3名を含む）、監査役1名、事務局1名、相談役5名中4名が出席

1. 2017年度の活動

1) 会員数

個人会員：432名、団体会員：28団体
合計：460名／団体

2) 後援会費及び寄付収入

後援会費：102万円、寄付：52万円、合計：154万円

3) 経緯

- ・法人への寄付
2017年5月に165万円（法人設立20周年記念事業の費用に充当）
2017年11月に15万円（萩の杜園庭、植木の剪定と除草費用に充当）
- ・セキスイハイム住宅紹介制度：2017年度は実績なし
- ・定例役員会（定例役員会：2017年5月）に加えて臨時役員会を3回開催し（2017年8月、2017年11月、2018年2月）、資金集めの方法などを話し合った
- ・法人各施設、事業所の取引業者様に後援会への入会をお願いした

2. 2017年度の収支と会計監査報告

1) 収入

前期繰越金：1,687,247円、寄付金：517,000円、
後援会費：1,024,000円、受取利息：11円、収入
合計：1,541,011円

2) 支出

事務費：1,102円、雑費：15,684円、通信費：9,692円、その他：50,000円、法人への寄付：1,800,000円、
支出合計：1,876,478円

3) 次期繰越金

1,351,780円（2018年3月31日現在）

監査役が上記の会計報告について適正に運用されていることを確認した

3. 2018年度の活動計画

1) 法人への寄付

- ・130万円を寄付（2018年6月予定）
5事業所に設置するAED購入費用の一部に充当
- ・萩の杜園庭、植木の剪定と除草費用30万円の寄付も実施

2) 後援会員の整理と資金計画

- ・退会希望者などがあったため、個人及び団体会員の整理を行った
今年度開始時の会員数は、個人会員：374、団体会員：24、合計：398名／団体
- ・資金計画→後援会費、寄付、その他で約167万円の収入を目標にする
各家族会の会員様、今年度新規利用者様及び法人関連の企業様を中心に協力をお願いする

3) セキスイハイム住宅紹介制度

- ・今年度も継続する
（後援会会員が住宅を建てる人をセキスイハイムに紹介すると、成約者は建物本体価格の3%割引、また後援会に50万円、紹介者にも10万円が支払われます
連絡先は法人本部：佐々木寛昭総務部長）

<その他のご報告>

2018年度以降の後援会役員は、次のとおりです

会 長：棚山薫晴

幹 事：東 敬司、厚東洋輔、玉木一彦、永井昌明、
福田啓子、本田英世、松岡洋市

会 計：和田光子

（以上、役員）

監 査：（欠員）

相談役：今村一二三、植松芳哲、沖本卓郎、中村節史、
松上利男

事務局：佐々木寛昭

（棚山 記）

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

- ☐ 法人へのご寄附に感謝いたします。(平成30年3月1日～平成30年5月31日)
久保いずみ 棚山薫晴 森田とよ子 植松芳哲 宮本東雨 戸田美郎 古山和史 升本秀則 南 昌子 佐藤邦雄 小川敏夫 笠原隆之助 自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス
- ☐ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(平成30年2月26日～平成30年5月28日)
佐々木久美子 八里いよ 篠原琴美 大野捷昭 大野容子 大野博夫 大野博美 大野晴夫 岩 忠 岩 弘子 岩 愛子 岩 敬子 富坂健治 富坂昭子 小川敏夫 小川祥子 西井正美 西井多美 八田 隆 高田弘美 西井真弓 和田 進 大曾根哲也 北川文治 辰巳浩一郎 大門陽子 澤村淑子 田中 武 神戸扶美枝 徳永順子 和田光子 辰巳くみ子 井田 進 永田健二 永田啓子 永田泰士 寺村善則 寺村有理子 遠藤一太 遠藤仁子 加藤 浩 垣端敏栄 高原正義 新田利秀 森 泰雄 西原清二 東 敬司 板倉ひろ子 豊澤 進 富田カズミ 梁 恵子 林美知子 濱田里美 橋本紀子 前田浩子 中西君枝 尾木 豊 佐藤康子 谷村剛史 谷村佳拓 谷村美喜 野口良三 具志堅進 野口里子 野口聖子 平井雅子 具志堅郁子 吉川輝夫 吉川弘子 榎本浩之 榎本滋子 志村敦子 川田紀久夫 米田たか 新川 彰 三宅陽一 三宅紀子 北爪隆子 藤田晴美 中村忠雄 平林弘子 中村昭代 篤田晴子 棚山薫晴 棚山 妙 森谷弘雅 森谷薫美 森谷奈津美 澤田博美 黒澤桂子 梅本順子 棚山勝行 木谷政之 池田美保子 平野千鶴子 高島鴻志 丸山繁一 高島美津子 南 昌子 南 雄太 南 浩聡 南俊一郎 南 直美 佐々木サツキ 柏原紀男 柏原智恵子 柏原孝紀 田部純史 増田 博 本田成美 関 正弘 関 喜子 八里いよ 八里さだ 段野恵美 鈴木都美 榎本貴夫 亀田三恵子 有限会社 北摂初田 神峯山寺 共和運輸 株式会社 伊丹産業 株式会社 株式会社 いずみ商事 代表取締役 久保常和 匿名希望3人
- ☐ 後援会への寄付に感謝いたします。(平成30年3月1日～平成30年5月31日)
新川 淳 柏原紀男 宮本東雨 平原悦子
- ☐ 家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成30年3月1日～平成30年5月31日)
森田とよ子
- ☐ 物品のご提供に感謝いたします。(平成30年3月1日～平成30年5月31日)
神田由美子 赤尾浩子 津田恵子 山尾扶美 澤田幸子 藤岡紀子 郡司絹子 宮川光子 藤本寿子 本田文江 月岡 不二園芸 チャーム美容室
- ☐ ボランティアに感謝いたします。(平成30年3月1日～平成30年5月31日)
坂井恵美子 佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2018年7月10日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **グループホーム みやた** (共同生活援助)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **サポートセンターPASSO**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] passo@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **こども発達支援センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **こども発達支援センター az**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- **ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジェイ・ブランチャよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
[E-mail] yodo_branch@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきブランチャ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **法人自主製品店舗 よどのコロッセ**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
TEL (06)6306-4096
営業時間：10：30～17：00(土・日・祝定休)
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**
就労継続支援B型
〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業